

すぎなみから歩き出す・交流自治体情報紙

# 東京で感じる 交流自治体 特集

杉並の交流自治体の魅力が感じられるグルメリヤスポットが東京都内にあるのをご存じでしょうか。てくてく12号では、「東京で感じる交流自治体」を特集します。なかなか旅行ができない今だからこそ、近場で交流自治体を感じてみませんか。旅行ができるようになったら、交流自治体に行つてより深く感じてみましょう。



## 北海道 名寄市 『明治神宮野球場の土』

昨年プロ野球日本一に輝いた東京ヤクルトスワローズの本拠地である明治神宮野球場には、北海道名寄市の土が使われています。土を製造するのは名寄市内にある「名寄土管製作所」。2011年に札幌ドームの土として採用されたことをきっかけに野球場の土を手掛けるようになり、2021年から明治神宮野球場でも使われるようになりました。



グラウンド管理責任者  
渡辺吟二さん

近年、野球界では粘土質で、より硬い土壌を求める選手が多い傾向にあり、まさに硬さ、粘りに優れた「名寄の土」は最適な素材です。従来の土に比べ崩れにくい為、試合後に行う整備の作業効率が上がり、時間が短縮されました。また、雨の日に土へのダメージが少ない事も特徴の一つで、現場としても大変心強いです。



名寄土管製作所

## 名

寄の土は、夏は30℃、冬は氷点下30℃となる名寄市の大自然が育んだ産物です。

従来から農業用暗渠排水用の素焼き土管や陶芸において使われている土でしたが、粒子が細かく、硬さ、粘りがあり崩れにくく、吸水性、透水性にも優れていたことから、明治神宮野球場でも採用されました。選手たちが名寄の土で最高のパフォーマンスができることを期待しています。

明治神宮野球場